

例会報告 Rotary



クラブアッセンブリー、
細則改訂決議
会長幹事退任挨拶

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 下屋勝比古
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 塚本 直人
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

本日の会長の時間は後ほどの退任挨拶に替えさせていただきます。

<幹事報告>

<例会変更>

- 可 児 … 7月 4日 (木) は、定款により 休会
- 7月 11日 (木) は、定例総会/懇親会のため、
18:30~ 鈴川 に 変更
- 7月 25日 (木) は、定款により 休会

<受贈誌>

高山RC (会報)

<出席報告>

出席者数	会員数	出席率
30名	37名	85.71%

<本日のプログラム>

細則改訂決議

会長エレクト 米澤 久二

今回はご無理なお願いをさせていただきます。半期で1万円、年間2万円の会費値上のお願いであります。

お手元の資料の来期予算で説明させていただきます。支出の部はクラブ運営費が約1000万円、奉仕活動費計が170万円で支出合計が1200万円となります。この支出を賄う収入をみますと特別会計からの繰入が120万円と多額が必要となります。

支出につきましてはスリム化を考えており、例えば親睦活動の費用については参加者に負担を求めるなどを考えております

昨今の諸物価高騰の煽りを受けて今後支出がますます大きくなると予想されます。とりあえず来期年間2万円の値上げをお願いしたいと思います。ご審議よろしくお願いたします。

ご理解、ご承諾いただきありがとうございます。



クラブアッセンブリー

親睦委員長 井口 大輔

「知っているようで実はよく知らないことを楽しく学ぼう」を年間テーマに上期①高山陣屋→洲さきにて宗和流懐石料理を堪能しつつお座敷文化を学び、下期は②岐阜県の伝統文化である

鵜飼を学びつつ、鮎づくし料理を堪能しました。天候の関係で鵜飼舟での鵜飼の見学はできませんでしたが、鵜匠宅で鵜を間近に見ながら説明を聴くことができ個人的にはソッチの方がよかったです。恒例の新年家族例会ではメンバーの「えっこのヒトが…!？」一芸や唄といった普段の顔とは異なる一面を垣間見ることができました。



ニコニコ委員長 堀 幸一郎

昨年4月高山グリーンホテルで、次年度ニコニコ委員会の立ち上げ懇親会を行い、委員会皆さんのお力を1年間お借りする旨、お願しました。

そもそもニコニコ委員会とはどのような委員会なのか全く理解しないまま委員長をお受けしましたが活動の中で、この委員会がクラブ運営費の補填を行う重要な委員会であると言う事を理解しました。また、当番が回ってくる例会で、混雑時のお金の集計や時流にあった「相乗りテーマ」を考えることは大変でしたが良い経験でした。

ニコニコ委員会は離れますが、今後ニコニコを「相乗りテーマ」に頼るのではなく、自分なりのニコニコが出せる様努力しようと思えます。1年間有難うございました。



会員増強委員長 長瀬 達三

本年度の当委員会の基本方針は、「クラブの円滑な運営と活性化に会員増強は必須だが、闇雲に人員を増員すればクラブの質の低下を招くことになりかねない。我がクラブのメンバーとして、ロータリアンとしてふさわしい人物に照準を絞ったうえで、1名でも純増することを目指す。」でした。

本年度の活動内容ですが、8月18日の担当例会にて高山商工会議所青年部会 会長 森本賢吉さんにお越しいただき、商工会議所青年部会の活動に関するスピーチをしていただきました。また、オープン例会でしたので、防衛庁 装備官 後藤 雅人さん、第一物産(株) 代表取締役 島 宗平さん、(株)一善 代表取締役 中島 太さん、(株)リースキン高山 代表取締役 野中 保博さん、奥飛観光開発 (株) 代表取締役 宮川 学さんにご参会いただきました。

つづきまして、12月15日のオープン例会では、高山市議会議員 丸山純平さん、(有)松野水道工事店 松野 辰宣さん、高山電気工事 (株) 岩田泰彦さん、第一物産 (株) 島 宗平さん、(株)一善 中島 太さんにお越しいただきました。

オープン例会を2回開催し、それぞれ5名のゲスト(ターゲット)にご参加いただき、結果1名ご入会頂くことができました。

なお、本年度の入会:3名(平 康裕さん、宮川 学さん、川瀬裕之さん) 退会:3名(折茂 謙一さん、宮川 学さん、平 義孝さん) でしたので、基本方針に掲げた純増1名に届きませんでしたが、きっと近い将来ご入会いただけるであろう感触は得られましたので、これらのリストを次年度委員長に引継ぎ、今後も増強活動に継続して関与して参りたいと思えます。



例会報告

ロータリー情報委員長 遠藤 隆浩

副委員長は堺和信さんです。

活動としては11月に新入会員オリエンテーションを4人の新入会員の方を対象に行いました。また同じ11月に北村直久氏をお招きして高山祭りについて講演していただきました。

岐阜で行われた委員会研修では現在のわが国の児童のおかれている状況がテーマで貧困問題など大変憂慮される現状を聞いてきました。一年間ありがとうございました。



社会奉仕委員長 高井 道子



今年度は、私の独断で、社会奉仕委員会として高山市の地域課題の一つに子育て支援があると思い、飛騨の子供たちの現状と課題というテーマで、お二人の子育て支援活動を卓話していただくことにしました。3月9日には、「子ども食堂 ひだこっぱん」代表中田綾乃さん、29日にはNPO法人飛騨高山わらべうたの会理事長 岩塚久奈子さんを招き、お話ししていただきました。

中田さんの卓話の中では、こども食堂ひだこっぱんの理念「生きてるだけで丸儲け 地域みんなの居場所」づくりを目指して活動していることが印象的でした。貧困の人のためとオープンに活動することのセンシティブな問題があることに気づいて、困っているかもしれないに関わらずどなたでも来てくださいねというスタンスをとることで、活動が広がったこと。また一緒にワイワイ食えることだけがニーズではない、ということで、お弁当を作り始め、近所に気になっている家庭があるから持っていきよと直接自分たちがいかなくても、様子を見に行きたい家庭と次につながっていくということが生まれていったこと。活動の中で、地域のニーズに徐々に気づいて活動を深化させていったことは、やはりボランティア活動の持つ人間としての成長を促すそれこそ人間力を高める姿そのもののように思い、感動しました。若い中田さんのエネルギーに圧倒されて、高山にもこんな素晴らしい活動家がいるんだと嬉しくなりました。

もう一人の岩塚さんは、高山でいろいろなボランティア活動に関わってみる有名な方で、その中でも直接子供の貧困に向き合っている方でした。特に、私が心に残ったのが、この高山で、ご飯が食べられない子供たちがいるという実態を知ったことでした。そして、子供の貧困は、母親の孤独・孤立という深刻な状態が原因になっていること。これらの課題を解決するために様々な事業を展開されていたことを初めて知りました。すべてのこどもが笑顔で過ごせるまちづくりのために、誰一人取り残さない子育て支援環境を作ること目標に困難な課題と向き合っている岩塚さんに心から敬意を表したいと思います。

今後、これらの子育て環境の課題に彼女たちを通じて西ロータリークラブとして何かしらつながりを持つようにしてあげることができれば、奉仕クラブとしてさらに意義の存在となれるのではないかと切に思いました。

国際奉仕委員長 野尻 陽子

担当例会の際には、市役所の観光課課長より、高山市の観光における現状、インバウンドの状況や、取り組み、問題点や今後の課題等についてお話をいただきました。

私自身が勉強不足ということもあり、国際奉仕委員ということについて、どのようなことをしたらいいのかわからず終わってしまった感もあります



が、どのようなことであれ、まず奉仕活動をするための、現状を知ることや、必要とされていることなどを知ることから始まると思います。

他のクラブでどのようなことをおこなっているのか等を知ることや、必要とされる活動はどのようなものがあるのかなど、まずは知りえることも活動の一つとしてとらえ、身近なところから考えていけるとよいと思いました。

退任挨拶

幹事 塚本 直人

1年間下屋会長のもと幹事を務めました。下屋会長の発想力や人脈のおかげで、普通では経験できない多くのイベントに関わることができました。特に大相撲の土俵づくりや二所ノ関親方の講演会は印象に残りました。



気が付くと、最終例会であつという間の1年間でした。クラブ運営にご協力いただいた、理事・役員のみなさまありがとうございました。私の話は短くしてこの後、下屋会長のお話をお聞きください。改めて、みなさまありがとうございます。



会長 下屋 勝比古

早いもので、今期最後のスピーチをさせていただくことになりました。ここに立って話すことが、不安と恐怖でしかなかった昨年が少しでも変わったかという今でも同じ気持ちです。9月ころまでは、自分がこんなに緊張して前が見えないのかと、自称ジャイアンは意外と小心者だったと情けなかったです。

今年度は柔道の精神でもある「自他共栄」=（相手を敬い感謝することによって礼の精神を身につけ、己を研鑽し高めたことを地元へ還元し尊敬されるクラブで活動しよう）としました。なかでも「品格と伝統」を重んじながら1年間歩んできましたがいかがだったでしょうか？

4年ぶりにコロナ制限のない日常が戻ったおかげで39回の例会を開催させていただきました。17名のゲストスピーカーにお越しいただき貴重なお話をさせていただきました。また、陣屋見学から「洲さき」で行った品のある紅葉例会。鶴飼い唄に乗るはずだったけど鶴飼いについて深く理解できた新緑例会。2曲もカラオケで歌わせていただいた新年家族例会。奥飛騨温泉を利用した地熱発電所見学。オープン例会では、8名の方に来ていただき宮川さんが入会されました。引き続き仲間が増えることを願って継続し

例会報告

ます。インターシティーミーティングでは、おそらく一番のプレゼントができたと思います。誕生日はリンゴジュース、結婚記念日は地元の駄菓子を贈りました。8月にはフランス パリから、ZOOMで会長の時間も経験しました。

正月に起きた能登半島地震では、台北の友好クラブから多くの支援金が届き、当クラブからは、130万を超える支援金を、台北の想いととも2610地区原ガバナーと共に、被災された七尾ロータリークラブへ直接届けることができました。

メイン事業であった財団補助金事業は、杉山さんに大きなご負担をおかけしながら「相撲に触れる一日」を開催できました。みなさん一緒に汗を流して土俵を作り、第72代横綱稀勢の里の二所ノ関親方をお招きして300名の方に講演を聞いていただきました。元横綱の存在感や大きさなど間近で感じられ、国技相撲に触れる体感をしてもらいました。地元の子供たちに日本伝統文化を伝承した中で、あの土俵で育った子が全日本体重別相撲大会で優勝して8月の世界大会に出場します。ぜひ個人的なご支援をお願いしたいです。

会長になって感じたことが一つ。会長の名刺を出す時皆さんの信頼度が急激に上がります。ロータリーバッジの重さは見つけた方の反応がよくわかりました。台北東海の会長と東京でお会いできたことや、2610地区原ガバナーや篠原地区ガバナーから直接電話をいただきました。これまでの先輩方が伝統と格式を繋いでこられたこの会であったからこそその役目でした。

常に暖かいお声掛けをいただき、無謀な提案を受け入れてくださり、行きづまってきたら食事に誘っていただいた先輩の皆様、会報委員長としてご不自由なお体に鞭打って真のロータリアンをお示しいただいた挾土さん。忙しい中毎週丁寧にサポートいただいた塚本幹事。ロータリアン以上の知識と経験でサポートいただき、会長に育てていただいた事務局の中澤さん。全ての会員の皆様に心より感謝します。毎週おひとりひとりのお顔が浮かびながらスピーチを考え、それなりにやってきました。

「自分のことは自分でやる。やれんことはやってもらう。やれることはやっつけてあげる。」義理と人情と愛にあふれた1年間でした。

<ニコニコボックス>

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

本日は最終例会です。1年間クラブ運営にご協力いただきありがとうございました。あっという間の1年間でした。後程ご挨拶いたします。体調管理には充分気をつけて、猛暑に備えましょう。本日はクラブアッセンブリーです。最終例会に向けて今年の反省と報告をお願いします。

●挾土 貞吉さん

「自他共栄」帆柱に一年間の航海、立派に終え今日の最終例会を迎えた下屋勝比古会長・塚本直人幹事他、役員の皆様ご苦労様でした。縁の下で水掻きしていた会報・雑誌・広報委員会も手元に配布しました小冊子を以って無事役目を終える事が出来ました。会員皆様のご協力に感謝いたします。29日萬代で祝杯楽しみです。中澤事務局さん一杯お注ぎ致します。なお次年度米澤田中丸と岡田AGの活躍と、更なる西クラブの発展をご祈念申し上げニコニコへ。

●田近 毅さん、阪下 六代さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、門前 庄次郎さん、垣内 秀文さん、大村 貴之さん、田中 晶洋さん、榎坂 純一さん、中島 一成さん、堀 幸一郎さん、佐藤 貴史さん

今年度最終例会を迎えました。下屋・塚本丸、一年間にわたる大航海お疲れ様でした。クラブ活動方針の「自他共栄」を文字通り実現した一年間でした。特に昨年7月の財団補助金事業「相撲に触れ合う一日」では、二所ノ関親方講演会『我が相撲道に一片の悔いなし』に多くの聴衆が集まり、高山西ロータリークラブの活動を多くの方に知っていただけました。来月から米澤・田中丸の出航です。新年度クラブ目標は『ズキズキ ワクワク』です。明るくポジティブで楽しい1年間にしましょう！！

●鴻野 幸泰さん

本日早退いたします。すみません

